

極寒!

しばれフェスティバル



2月4日(土)～5日(日)にかけて、陸別町にて「第36回しばれフェスティバル」が開催され、帯広開発建設部からも地域振興対策室をはじめとする職員が参加しました。

しばれフェスティバルは、「日本一寒い町」である陸別町が、その寒さを逆手に取って始めたお祭りです。今や高い知名度を誇り、今回も道外から多数の参加者がいらっしやいました。

祭りの目玉イベントといえば、「人間耐寒テスト」でしょう。テストの参加者は、一晩を「バルーンマンション」や屋外で過ごすこととなります。



祭りでは、タオルを凍らせたスピードを競う「タオル早回し選手権」や「カラオケ大会」など様々なイベントが行われ、盛り上がっていました。

お笑いライブでは、テレビ等で人気の「マテンロウ」と「デニス」が登場し、爆笑の渦を巻き起こしました。

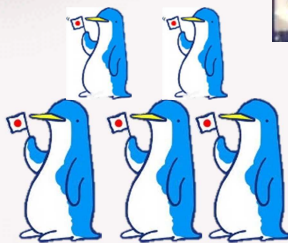


▲当部部長も参加。寒そう。



▲バルーンマンション。寒そう。

→必死にタオルを回します。



祭りの参加者たちは、バーベキュー(外で)を楽しみながら夜を過ごしました。

しかし、はしゃいでいられるのは最初だけで、夜中になると寒い、だけど(寒すぎて)寝られないという苦しい時間が続きます。

この日の最低気温はおよそ**-24℃**！残念ながら？歴代最低気温の更新とはなりませんでしたが、それでも十分すぎる寒さでした。



▲会場内には「命の火」が。



▲0時を過ぎてからが本番です。



北海道の冬の厳しさと楽しさを同時に体験できる「しばれフェスティバル」、皆さんもぜひ1度体験してみたいはいかがでしょうか。生きていることと暖房の素晴らしさを味わえる、素敵な1日が待っています。



▲花火も打ち上がりました。



▲寒中BBQ。味がよく分かりません。



[Web 広報誌に戻る](#)